

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-195

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：人工知能を用いた骨髄異形成症候群の骨髄血球形態異常の再分類
- ・ 目的： 骨髄異形成症候群（MDS）をその遺伝子変異ベースとして再定義した場合におけるMDS患者の骨髄塗抹標本の画像的特徴を、人工知能（AI）を用いて検出する。
- ・ 氏名、生年月日、病歴番号など個人を特定する情報を保管情報から消去し、新規で研究用患者IDを個人識別符号とする。送付される患者検体は研究用患者IDを付与した対応表から個人情報を除く匿名化を行い、個人情報の保護に努め、当院個人情報管理者により一定のセキュリティの下で管理する。
- ・ 研究期間：臨床研究IRB承認後～ 2025年 3月 31日
- ・ 研究対象：2007年 4月 7日～ 2023年 12月 31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：骨髄検査の標本（塗抹、クロット）、患者さん個人の同意のもとに保存された骨髄あるいは末梢血細胞、患者背景(性別、年齢、個人情報を保護した病歴)、治療情報、採血データ

利用する者の範囲

：公益財団法人ときわ会常磐病院 血液内科、国立大学法人九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所、エルピクセル株式会社

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：研究代表者：公益財団法人ときわ会常磐病院 血液内科 森 甚一

当院の責任者：埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 前田 智也